

## 「人権の花」運動 修了式

「人権の花」運動は法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会が昭和57年から始められた運動で、30年以上も続く運動です。「生命の尊さを実感する中で、情操を豊かにし、お互いの人権を尊重しあう心を育てよう」という趣旨で始められました。中津市では、小学校6年間の在学中に一度は経験させたいという願いから毎年4校が指定を受けています。

今年には本校の他に如水小、秣小、山移小が指定を受けました。6月に人権の花交付式があり、環境美化委員会を中心に花の育ててきました。この活動を通し、周りを思いやる心、優しい心、強い心、命を大切にする心を育てることにあります。そして育てた花の種を紙風船とともに飛ばし、その思いを拾った人に伝えるという修了式が12月5日に行われました。運動場で600個の風船が一斉に離された時の様子は、きれいで心を打つものがありました。種をつけた風船は集団で空高く舞い上がり、小さな点となっていきました。

その次の日です。風船に託した種を拾ったという方から電話がかかってきました。山口県熊毛郡（光市の近く）愛媛県今治市、広島県福山市、そして、最も遠いところでは、岡山県浅口郡からも電話がありました。

義務教育は知・徳・体のバランスのとれた教育をすることにあり、学校は、子どもたちが安心して、安全で生活する場でなければなりません。知・徳・体はどれも大切なことですが、昨今の状況から、特に「徳」の教育に力を入れなければならないと思っています。その意味でも、この人権という意味は大変大切なことだと思います。

## 12月10日・・・世界人権デー

児童朝会の中で、12月10日の世界人権デーのことについてふれました。人間は一人ひとりみんな顔が違い、思っていることも考えることも違います。歳も違うし、男か女かも、生まれた国も違います。けれども、その違いを認め合い、お互いに尊敬し合って仲良くくらすことが大事なことを話しました。また、自分の学校生活の中で、仲良く暮らすにはどうしたらよいかも考えました。

----- みんなで仲良く暮らすにはどうしたらよいか -----

- ① 考えが違うからといって、仲間はずれにしない。
- ② 男だから女だからといって差別してはいけません。
- ③ 人を傷つけるような言葉を言ったり、弱い人をいじめたりすることは絶対許されません。
- ④ 子どもでも大人でも、元気な人も体が不自由な人も、また、生まれた国が違っていても、みんな尊い生命を持ち、自分の願いや目標に向かって一生懸命頑張っている人間同士なのです。

## ～親が子になすべきこと～

世界の青少年のものの考え方など、継続的にアンケート調査で追跡しているところがあります。「青少年研究所」というところです。たくさんの方のデータの中でも、東京、北京、ソウルの三都市の小学生に対する調査結果は大変ショックを受けました。

「親が『うそをついてはいけない』というか?」という問いに対して「よく言う」と答えた小学生は、北京では46%、ソウルでは40%でした。これに対して東京では21%しかありませんでした。また、「親が『先生の言うことをよく聞きなさい』というか?」という問いに対しては、北京とソウルが各々45%と44%であるのに対して東京ではわずかに20%でした。

「親の言うことを聞くように」「約束は守るように」「あいさつはするように」などという、人間としての基本的な「作法」が身につけるための「言葉」を親が子どもにあまり投げかけていない様子が浮かびあがります。もちろんこれは他都市の単純な比較で、これだけのデータであまり自虐的になる必要はないと思いますが、何か置いてけぼりを食ったような嫌な気分になります。

子どもは間違いなく、親の何気ない会話を耳にしています。また、親のやることを何気なく見ています。そして、当然のこととして無批判に（正しいかどうかの判断する遙か前の段階で）身につけてしまいます。潔い心を持った親の姿を見ていれば、それが子どもの身にもつきます。親が子どもを虐待すれば、その子どもも自分の子どもにそれを返します。親が大人をバカにすれば子どももバカにします。だからよほどでない限り、小中学生の子どもがいるところで、他人、学校や社会の批判をするべきではないと思います。

親から受ける教育といっても、それは堅苦しいものではなく、むしろ親の日常の言動そのものであり、日常の行動そのものであると言えます。つまり、親の日常生活そのものが、子どもの教育になっていると言えます。

# 12月のめあて 「体をきたえよう」

12月3日（月）から13日（木）まで「体力づくり」として、中休みの前に特設の時間を15分間設けて全校で運動場を走り、「持久力をつける」取り組みをやってきました。どの子どもも自分のめあてを決めてがんばっていました。

12月14日（金）には、持久走大会が行われ、中学年は1500m、低学年は1000m、高学年は2000mを走りぬきました。

ご声援、ありがとうございました。



## 平和を願う集会

1941年12月8日、太平洋戦争が勃発し、悲惨な戦争を迎えてしまった歴史を繰り返さないために、平和集会を行いました。「多くの方の命を奪った戦争の歴史を忘れず、これからも平和を願う気持ちを語り続けていかなければならない。」

読み聞かせの方々による「かわいそうなぞう」を聞き、「おりづるの歌」を合唱しました。

## 読み聞かせ



## 校門ではゆっくり安全に

校門あたりは車の通行と出入りが多く下校時や夕刻のスポーツ少年団からの帰宅時などの事故が心配です。

車で校内に入る時は、ゆっくり安全を確かめてください。

## さらにもう一度チェックを

冬休みが近づきました。改めて安全について話し合ってください。

○出かけるときは、行き先がわかるようにする。（メモを残すなど連絡方法の確認をしてください。）

○できるだけ一人では行動しない。

（登校時・遊ぶとき）

## あと数日で冬休み

クリスマス、お正月と子どもたちが楽しみにしている冬休みまで、あと少しです。年末の慌ただしい時期ですが、寒さが厳しくなったり、夕暮れが早くなったりと環境が変わっています。かぜやインフルエンザ、火遊び、夕暮れの自転車運転など十分に気をつけてください。年末・年始、子どもの安全や健康、危険な行動で気になることがありましたら、ご連絡ください。